

# 平成25年度北海道農産物鑑定研修会

日時：平成26年2月6日(木) 10:00

場所：北農ビル19階(札幌市)

今回で9回目を迎えた農産物鑑定研修会では、全道の腕利き検査員が参加し、日頃の鑑定技術を競いあいました。

## 主催者挨拶



一般社団法人 北海道米麦改良協会  
岡本英俊 専務理事

農産物検査は米や麦等の農産物流通の基本であり、その検査が適正公正に運営されていることから北海道全体の農産物取引が円滑に行われ、信頼につながっているものと認識している。

今回の鑑定研修会では、参加した検査員それぞれが地域のリーダーとして鑑定技能を一層磨くために競ってもらうが、検査員のみなさんは、地元に戻っても後輩の検査員に鑑定技能のみならず、法令と業務規程に基づく訂正な農産物検査について指導的役割を発揮して欲しい旨挨拶致しました。

## 《参加者》



全道9地区77箇所のJA等より推薦を受けた、農産物検査員132人が参加しました。

## 来賓者挨拶

農政事務所 農政推進部

業務管理課 赤間健治 課長

農産物検査業務は一人の検査員の行ったことが全道へ影響を及ぼす可能性があることを充分認識し、生産者、消費者の信頼性確保のために適切な検査を推進するようお願いと経営安定対策の見直しにより、26年産からそばの未検査品が対象外になることから、25年産の検査希望等来る可能性高いので、生産者への情報提供等、遺漏の無き様取進めて欲しい旨の挨拶がありました。



## 鑑定方法と原案発表

米陀技監より鑑定方法について、内海技監より鑑定原案を発表しました。



検査部 米陀 眞 技監



検査部 内海 範雄 技監

# 鑑定風景



水稲うるち玄米



普通小麦



大豆

## 鑑 定 講 評



検査部

樋口 健一 技監

今回の会場は普段検査を行っている検査場と環境が違う状態の中で、各参加者が日頃の技術練磨の実力を如何なく発揮し、高い平均点をとる事ができ総じて優秀な成績であった旨の講評とともに、各部門の結果発表をいたしました。

## 鑑 定 成 績 優 秀 者

水稻うるち玄米		
	J A 名	氏 名
最優秀賞	函館育ち広域連	植田 雅俊
優 秀 賞	今金町	工藤 裕之
優 秀 賞	新冠町	田中 正洋
参加人数	63人	

普通小麦		
	J A 名	氏 名
最優秀賞	小清水町	古川 慎也
優 秀 賞	オホーツク網走	林 敬志
優 秀 賞	北いぶき	斉藤 慎護
参加人数	52人	

大 豆		
	J A 名	氏 名
最優秀賞	月形町	西 和然
優 秀 賞	北ひびき	中井 康丈
優 秀 賞	道 央	山口 啓太
参加人数	21人	

## 各品目の最優秀賞者の表彰式

水稻うるち玄米の部  
植田 雅俊 氏



普通小麦の部  
古川 慎也 氏



大豆の部  
西 和然 氏



## 閉会挨拶



事務局長(兼検査部長)

高橋 幸雄

日頃の参加者の努力により、各参加者とも極めて優秀な成績であったことの御礼と、今後もベテラン検査員を中心に適正な検査業務を進め、新人検査員にもその伝承をしていく必要があることや、今後も業務に対する意識改革をもってJA内の検査体制の確立を目指して欲しい旨を参加者へ提起しました。